

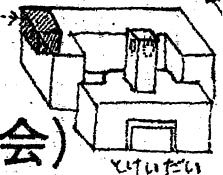
24th 11月祭

講演会 あなたを狙うコンピュータ

21日(日) 1時から 法経8

講師：土方 隆氏（コンピュータ労働研究会）
天笠 啓祐氏（『技術と人間』編集者）

法経8



主催：京大コンピュータを考える会、共催：数理工学科11月祭実行委

コンピューター技術者＝花形職種、このようなイメージを持つ人は多いのではないか。が、すでに、キーパンチャー・オペレータ等の端末労働者、ソフトウェア開発を担うプログラマー等とも、その人気に翳りが見え始めている。プログラマーに関しては、「プログラマー残酷物語」「プログラマー30才定年説」が、広くうわさされている。これは、徹夜作業の連続、極端に多い残業時間、他社への派遣の日常化といった人間の想像を絶する労働条件が、強いられているからである。さらに、コンピュータメーカーの最先端に従事する技術者たちの実情を表わす端的な例が、IBM産業スパイ事件である。国産メーカーは、72～73年ごろからIBMの互換機路線（IBMの機種と同じ機能を持つ機械をつくる、いわばモノマネ）をとってやってきた。技術者は、会社に貢献するためには、いち早く向こうの情報を入手し、その互換機を作らねばならない。入社の時は、日本の自主技術開発を担う気概であった人達が、どのように変っていく。

OAの普及による首切り、就職難等の失業問題、自治体へのコンピュータ導入による国民総背番号制問題から、コンピュータ産業に従事する技術者達の実情について、考えていきたい。多数の来聴を切望する。

・てんじきかく・ 1/20(土)～23(火)

「マイコン研」ではありません A216

「機械にできることは機械にまかせ……」そういわれてきました。そのうち、愛する人へのロブロボも、マイコン仕掛けのロボットが代ってくれるかもしれません。個々ばらばらになった「人間」の間を「機械」がとりしきる社会。もう始っているのです。工場の中で。銀行の中で。大病院の中で。オフィスの中で。あなたは気がついていますか。そんなうごきに、私たちは抵抗したいんです。

テーマは「人間と機械」

「機械にできることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである」…
「機械の尺度で人間の活動を測り、それを機械に置きかえていくべきである」…
これが立岩電機のモットーです。

- オートメーション機能部品・制御用システム機器・交通制御システム
- 駅務自動化システム・バンキング・システム・SS POSシステム
- 駐車場システム・電子レジスター・家庭用健康機器・医用機器・電卓

立岩電機株式会社／本社 〒616 京都市新京区花園土室町10 TEL 75(463)1161大代



立岩電機